

# 東北圏の現況(指標等による整理)

---

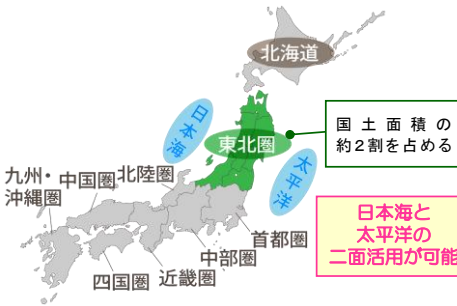
## 【概要版】

令和4年8月29日  
東北圏広域地方計画推進室

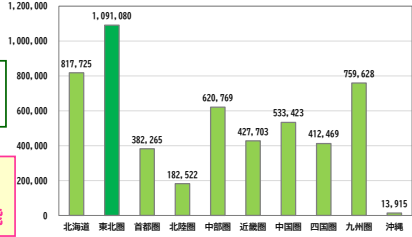
# 1. 東北圏の特徴-1

## 1. 広大な圏土と豊かな自然環境

### 『広大な面積と豊富な森林』



### 『森林資源の蓄積量(圏域別)』



出典：林野庁「森林資源の現況 (H29)」

### 『豊かな自然と水資源』



『美しい太平洋と日本海』  
太平洋のリアス式海岸 (岩手県)

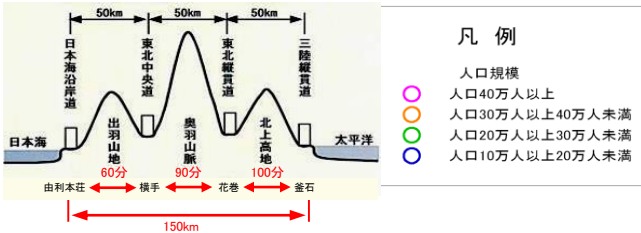


海岸線が美しい日本海 (秋田県)



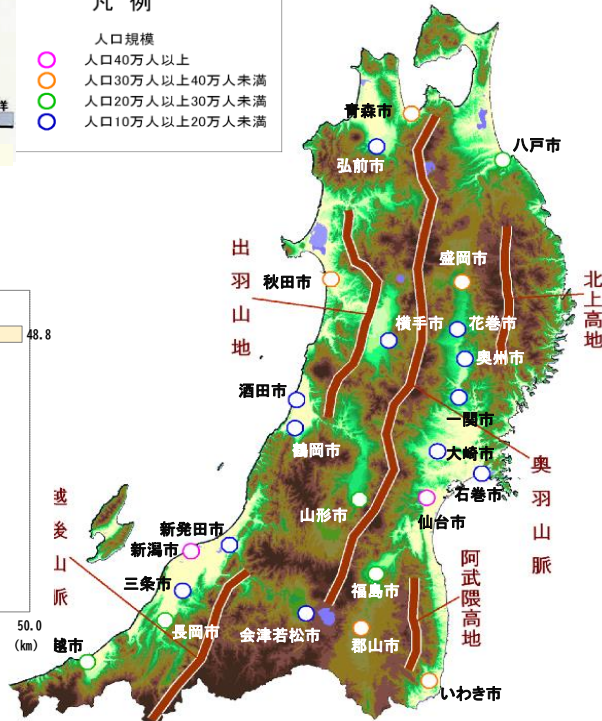
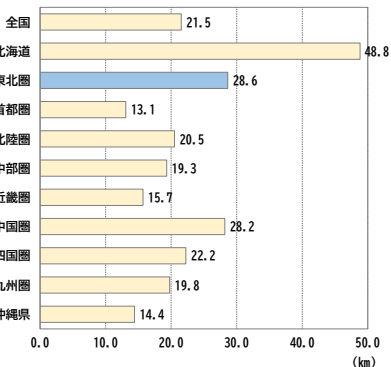
## 2. 広範囲に都市が分散する圏土構造

### 『起伏に富んだ山地』



● 人口：1,080万人  
● 面積：8万km<sup>2</sup>  
資料：総務省統計局「日本の統計2022」  
国土地理院「令和4年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」

### 『長い都市間距離』



## 3. 気象、災害等の自然の脅威

### 『東日本大震災後も続く大地震』



▲福島県沖地震による新幹線の脱線 (R4)



▲令和2年12月・令和3年1月の大雪(関越道 新潟県)

豪雪地帯・特別豪雪地帯指定地域

東北圏域の約8割が豪雪地帯に指定されており、そのうち4割は特別豪雪地帯である。



### 『豪雨災害の頻発・激甚化』

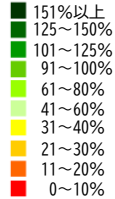


▲令和元年東日本台風による阿武隈川の氾濫 (R1)

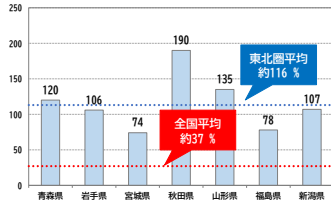
# 1. 東北圏の特徴-2

## 4. 地域資源のポテンシャル

### 『高い食料自給率』



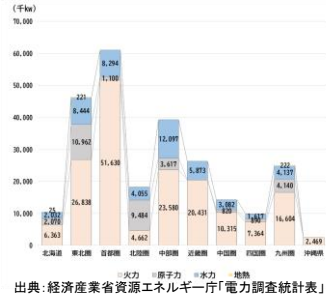
都道府県別食料自給率



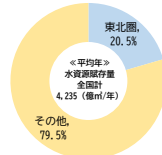
▲東北圏の食料自給率

出典：農林水産省「(HP)都道府県別食料自給率について」

### 『ベースロード電源』 R2年度発電最大出力(圏別別)



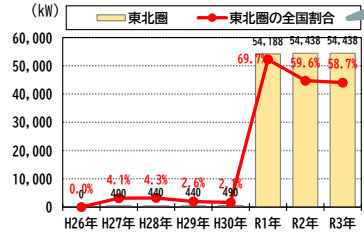
### 『豊富な水資源貯存量』



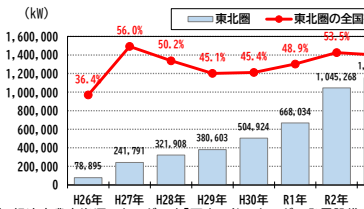
出典：国土交通省「令和3年版 日本の水資源の現状について本編(PDF版)」

### 『自然エネルギーの導入量』

地熱発電の設備容量

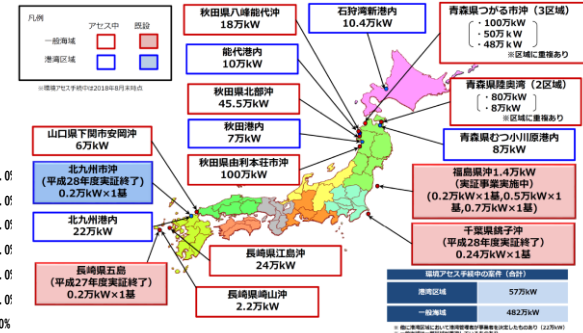
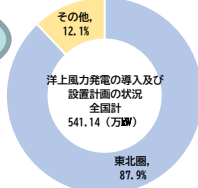


風力発電の設備容量の推移



出典：経済産業省資源エネルギー庁「再生可能エネルギー発電設備の導入状況」(2021年12月末時点の状況)

R1年5月に湯沢市に山葵沢地熱発電所が開設された影響により導入量が急増。



▲洋上風力発電の導入及び設置計画の状況 出典：エネルギー白書2020(資源エネルギー庁)

## 5. 先端産業拠点の整備進展

### 『整備が進む先端産業拠点』



▲次世代放射光施設(ナノテラス) 出典：東北大学



▲鶴岡サイエンスパーク 出典：山形県



福島ロボットテストフィールド

▲ふくしま医療機器開発支援センター 出典：福島イノベーション・コースト構想

### 『先端産業の研究開発拠点の立地』



出典：「国土形成計画(広域地方計画)の推進に係る報告について(国土交通省)」を基に作成



▲国際トリアスライダー(イメージ) 出典：ILCを核とした東北の将来ビジョン

## 6. 特徴ある伝統、文化、冬の魅力

北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録 (R3年)



三内丸山遺跡(青森県)

青森ねぶた祭り(青森県)



蔵王の樹氷(宮城県・山形県)



大森勝山遺跡(青森県)

# 2. 東北圏を取り巻く潮流-1

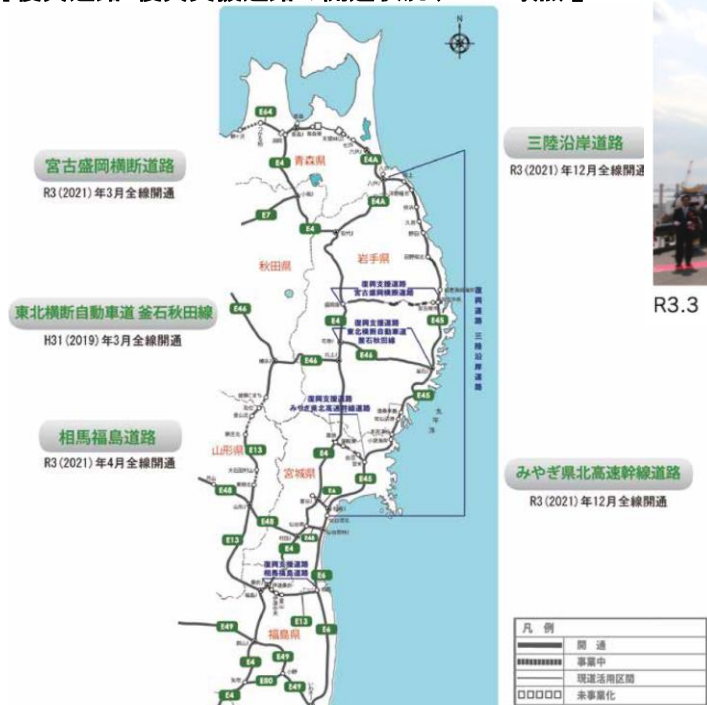
## 1. 東日本大震災からの復興と再生

### 『復興に関する取組の達成状況』

	震災前又は最大値	現状
復興道路・復興支援道路	570km(計画)	570km(100%) 【R3.12】
災害公営住宅	29,654戸 (計画戸数)	29,654戸(100%) 【R2.12】
高台移転による宅地造成	18,226戸 (計画戸数)	18,226戸(100%) 【R2.12】
避難者数	47万人(発災当初)	3.5万人【R4.4】
応急仮設住宅の入居者数	31.6万人 【H24.4最大】	0.1万人【R4.5】
日本産農林水産物・食品 に対する輸入規制実施国・ 地域数	55か国・地域 (最大)	13か国・地域 (撤廃42か国・地域) 【R4.6】

出典：復興庁「復興の現状と今後の取組 (R4.4)」

### 『復興道路・復興支援道路の開通状況 (R3.12時点)』



令和3年12月18日現在  
出典：復興庁「東日本大震災からの復興の状況と取組 (令和3年12月版)」

## ① 住まいとまちの復興



災害公営住宅整備 (宮城県南三陸町)  
(UR都市機構より提供)



R3.3 復興道路開通式 (気仙沼港IC～唐桑半島IC)  
出典：三陸エリアと復興道路パンフレット

### 『9年ぶりに全線開通したJR常磐線』



出典：国土交通省東北地方整備局東北圏広域地方計画推進室  
「東日本大震災からの復興の状況と取組 (令和3年12月版)」

## ② 原子力災害からの被災者支援と産業・生業の再生

### 『避難者数は約4万人 (R3.4)』



### 『水産業に課題』



出典：復興庁「復興の現状と今後の取組」

### 『引き続き求められるコミュニティ形成や住宅・生活再建相談、心のケアなどの支援』



出典：復興庁「復興の現状と今後の取組」

## ③ 東日本大震災の経験・教訓の継承

### 『復興祈念公園の整備』



(福島県復興祈念公園イメージパース)



(高田松原津波復興祈念公園)

### 『教訓を伝える施設のネットワーク化』



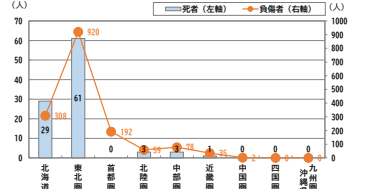
(石巻南浜津波復興祈念公園)



# 2. 東北圏を取り巻く潮流-2

## 2. 頻発・激甚化する自然災害

雪害による死傷者の地域分布 (R3年)



出典:消防庁「今冬の雪による被害状況等」



▲令和2年7月豪雨最上川 (山形県大石田町)

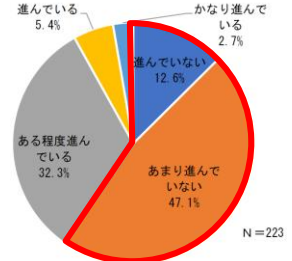


▲令和3年8月温帯低気圧による豪雨(青森県むつ市)

出典:東北地方整備局

## 5. デジタルトランスフォーメーション(DX)の遅れと成長の停滞

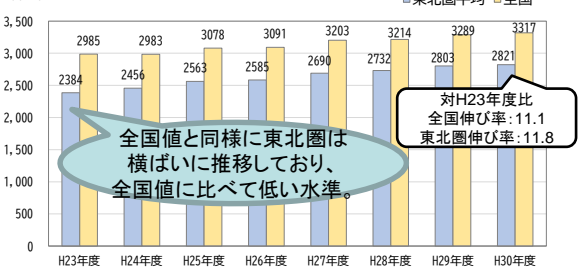
東北圏企業のデジタル化の取り組み状況



N=223

出典:公益財団法人 東北活性化研究センター「東北圏の産業分野におけるデジタル技術活用に関する実態調査」

1人当たり県民所得

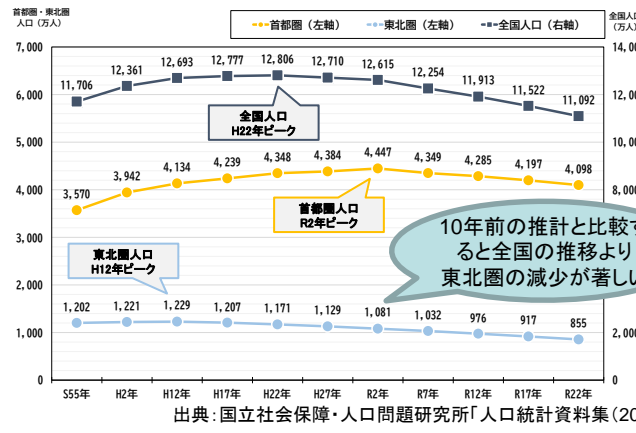


全国値と同様に東北圏は横ばいに推移しており、全国値に比べて低い水準。

対H23年度比  
全国伸び率:11.1  
東北圏伸び率:11.8

出典:内閣府「県民経済計算」

## 3. 人口減少・高齢化の深刻化

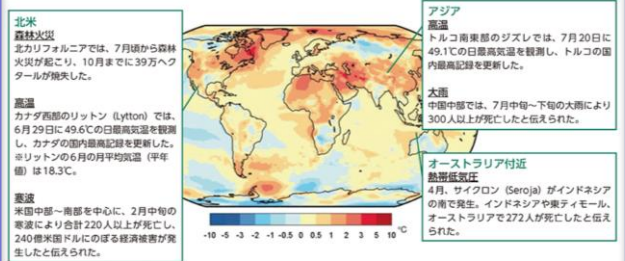


10年前の推計と比較すると全国の推移より東北圏の減少が著しい

出典:国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集(2022)」

## 6. 地球規模の環境問題

2021年の世界各地の異常気象



1981-2010年の平均気温に対する2021年1月-9月の平均気温の偏差  
出典:環境省「令和4年版環境・循環型社会・生物多様性白書」

地球規模の課題である気候変動問題の解決に向けて、世界的にカーボンニュートラルの取組推進が求められる。

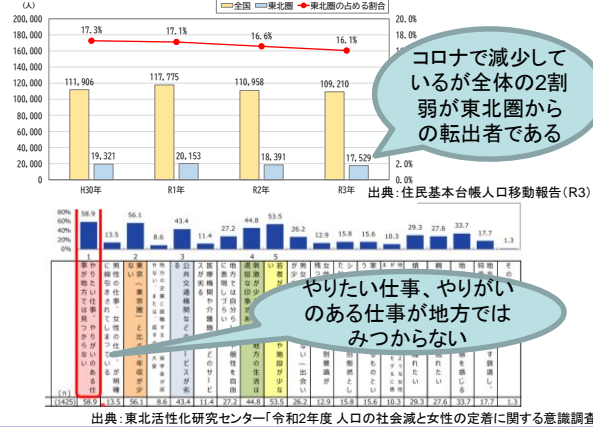
2050年までのカーボンニュートラルを表明した国



出典:経済産業省「令和2年度エネルギーに関する年次報告(エネルギー白書2021)」

## 4. 若年層・女性の転出増

20代女性の首都圏への転出



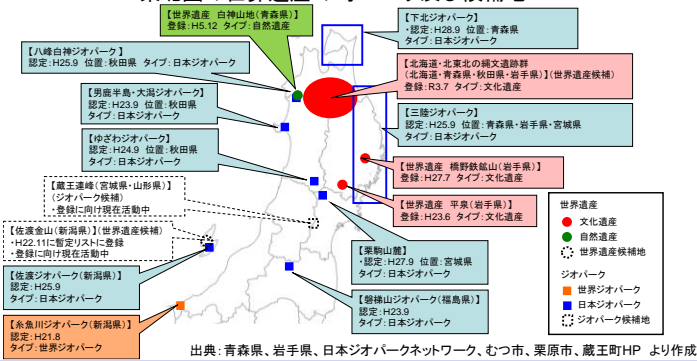
コロナで減少しているが全体の2割弱が東北圏からの転出者である

やりたい仕事、やりがいのある仕事で地方ではみつからない

出典:東北活性化研究センター「令和2年度人口の社会減と女性の定着に関する意識調査」

## 7. 地域・社会の魅力、文化への意識の高まり

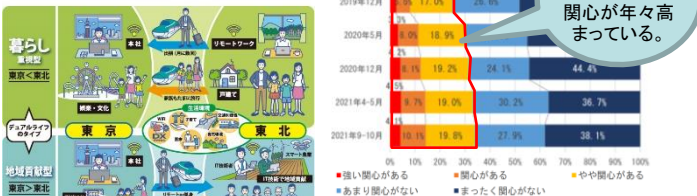
東北圏の世界遺産・ジオパーク及び候補地



出典:青森県、岩手県、日本ジオパークネットワーク、むつ市、栗原市、蔵王町HP より作成

## 8. 新型コロナウイルス感染症による変化

デュアルライフ東北 ~多様な暮らし方、働き方の先進地へ~



コロナ禍により地方移住への関心が年々高まっている。

▲地方移住への関心(東京圏)  
出典:内閣府「第4回新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査(R3)」

# 3. 東北圏発展の課題－1

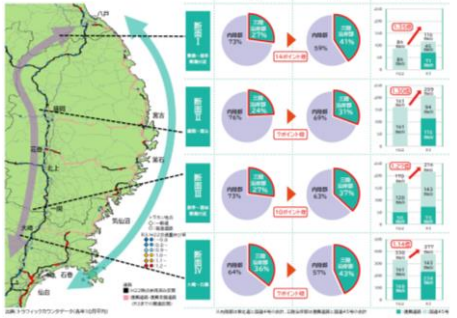
黒文字：現計画の課題内容  
赤文字：変更提案  
青文字：関連キーワード、変更の意図、方向性

## 1. 震災復興の先の自立的发展

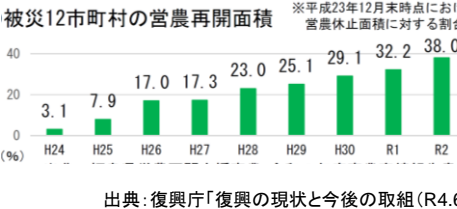
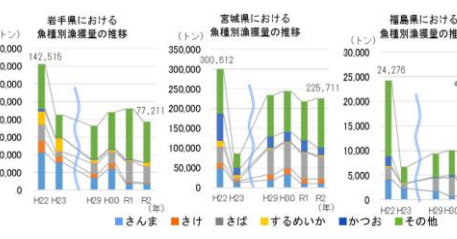
- (1) 広域的な地域間連携
- (2) 広域交通基盤の機能強化
- (3) 災害時の情報通信の確保
- (4) 災害リスクの低減
- (5) 災害廃棄物の広域処理体制の構築
- (6) 防災訓練・教育の充実強化や災害の記録と伝承
- (7) 災害に強いサプライチェーンの構築
- (8) 復興に向けた新しい地域づくり
- (9) 東京電力福島第一原子力発電所の事故による災害への対応

※戦略的目標との対応を分かりやすく表現するため  
災害対策と区別。  
震災復興はおおむね進展してきていることから、次  
の段階へ進む意味合いを表現。  
その他表現例  
震災復興の先に向けた自立的发展へ など

地震・津波被災地域`復興の「総仕上げ」の  
段階、原子力災害被災地域`復興・再生が「  
本格的に始まった」段階(復興の現状と今後  
の取組、R4,復興庁)  
産業集積  
国内外への発信  
風評払拭



▲三陸沿岸部の交通量の変化  
出典：東北地方整備局HP



出典：復興庁「復興の現状と今後の取組(R4.6)」より抜粋

東日本大震災及び  
原発事故からの再生に向けて、  
6つのプロジェクトを推進し、各種  
産業の集積を進めている。

**廃炉**

楡葉遠隔技術開発センター

**ロボット・ドローン**

福島ロボットテストフィールド

**エネルギー・環境・リサイクル**

再生可能エネルギーの導入

**農林水産業**

浪江町の花卉栽培拡大

**医療関連**

ふくしま医療機器開発支援センター

**航空宇宙**

(株)H相馬事業所

▲福島イノベーション・コースト構想 主要プロジェクト  
出典：公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構

水産加工業をはじめ  
とした産業の回復が  
遅れている。

復興支援道路の開通により、  
釜石港の利用企業が拡大し、  
地域の物流に貢献。



▲釜石港利用企業数・コンテナ取扱量の推移  
出典：東北地方整備局HP

## 2. 災害対策と防災先進圏域としてのプレゼンスの向上

※戦略的目標との対応を分かりやすく表現するため震災復興と区別。  
【キーワード】

流域治水  
巨大災害(中間とりまとめ⑥より)  
ハード・ソフトの一体的な整備

災害の経験を活かした防災・減災の取組

【宮城県 角田市】  
○市道 駅前花島線に越水対策工事(止水壁)を設置し、尾袋川からの越水対策を実施することで左開地区への越水流入を防ぎ、避難経路を確保する対策を実施しています。

できるだけ氾濫を防ぐ・減らすための対策を実施。

市道 駅前花島線に越水対策工事(止水壁)を  
設置し、地域住民の安全・安心を確保する。

▲阿武隈川水系流域治水プロジェクト(宮城県角田市)  
出典：国土交通省

太平洋・日本海の2面をもつ  
東北圏の特徴を活かし、  
他圏域での地震発生時に備えて  
代替輸送を実施するための  
バックアップ体制の整備が課題である。

東北港湾の広域連携による災害対策

三大湾の広域港湾BCP  
・同一湾内に複数の港湾が立地し、水域を共有  
・同じ地震災害により同時被災する可能性が高い  
・湾内の関係機関の連携による航路啓閉・応急復旧に重点を置いた広域港湾BCP

東北港湾の広域港湾BCP  
・太平洋沿岸と日本海沿岸の広範囲にわたって港湾が点在し、両沿岸で大規模地震・津波が発生する可能性がある  
・各港における港湾機能継続の取り組みが基本  
・しかし、大規模災害時には、各港が単独で輸送能力を確保することが困難となることも想定  
・太平洋沿岸と日本海沿岸の港湾は相互にバックアップが可能な地勢構造  
・復旧資機材の調達、代替輸送における広域連携による被災港湾の支援のための広域港湾BCP

▲東北港湾の広域港湾BCPの特徴  
出典：東北広域港湾防災対策協会「東北広域港湾機能継続計画」

## 3. 克雪・利雪・親雪の推進

- (1) 豪雪地帯における安全で快適な生活環境の整備
  - (2) 利雪・親雪の推進
- ※東北圏ならではの特徴であることから継承。  
スノーリゾート形成のための取組例



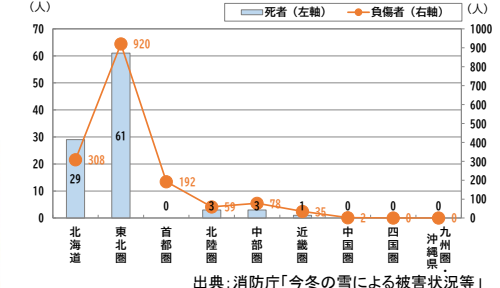
アフタースキーを楽しめる環境を整備。高機能な降雪機の導入により、外国人観光客の長期滞在を促進 営業期間を最大化・明確化  
出典：観光庁「国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業」(R3)

豪雪地帯における安全で快適な生活環境の整備



▲雪害により傾斜した電柱(新潟県)  
出典：NIT技術ジャーナル

雪害による死傷者の地域分布 (R3年) (再掲)



出典：消防庁「今冬の雪による被害状況等」

雪を魅力的な地域資源として  
活用する取組例  
(山形県西川町「月山志津温泉雪旅籠の灯り」)



出典：山形県「山形県雪対策基本計画」(R2.3)

# 3. 東北圏発展の課題－2

黒文字：現計画の課題内容  
 赤文字：変更提案  
 青文字：関連キーワード、変更の意図、方向性

## 4. 産業の活性化、国際競争力ある産業の振興

- (1) 競争力ある産業の振興
- (2) エネルギーの安定供給
- (3) 農林水産業の維持・強化
- (4) 物流拠点の整備と交通・情報通信ネットワークの構築

格子状ネットワークの構築に向けて、東西方向の軸の整備を進める。

【キーワード】

次世代放射光、水素エネルギー、カーボンニュートラル（中間とりまとめ⑥より）、国際競争力（国土の長期展望・中間とりまとめ④より）、国際リニアコライダー誘致、超スマート社会、Society5.0、ビッグデータ、AI、IoT、5G、DX、シェアリングエコノミー



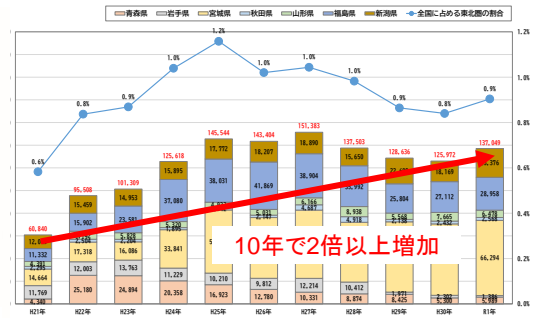
▲格子状ネットワークの整備  
 出典：東北地方整備局

東北圏における先端産業拠点の集積状況

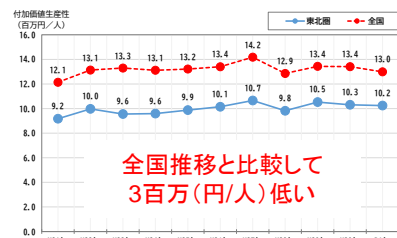


▲ふくしま医療機器開発支援センター  
 出典：国土形成計画（広域地方計画）の推進に係る報告について（国土交通省）」を基に作成

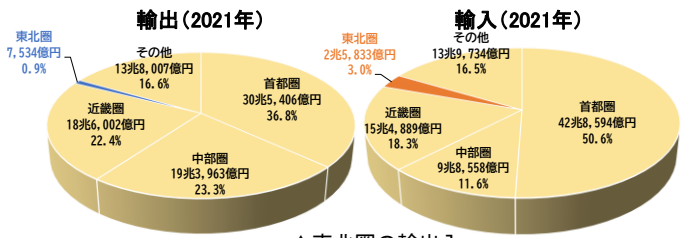
東北圏の研究開発費



▲東北圏の研究開発費  
 出典：経済産業省「企業活動基本調査（再編加工）」



▲付加価値生産性の推移  
 出典：経済産業省「工業統計調査 地域別統計表」

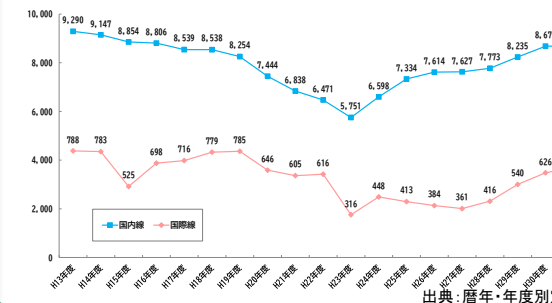
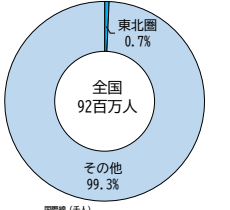


▲東北圏の輸出入  
 出典：神戸税関「全国開港別貿易額表」

## 5. 国際交流・連携の強化

- (1) 国際交流・連携のための基盤整備
  - (2) 戦略的、効率的な国際物流の実現
- ※戦略との対応を分かりやすく表現するため、この項目では観光に関する内容とし、国際物流は「4. 産業の活性化、国際競争力ある産業の振興」へ。  
 内容例) ポストコロナ時代の国際交流、インバウンドへの対応

国際線旅客数の全国比 (R1年度)



出典：暦年・年度別空港管理状況調査

## 6. 循環型社会の構築、豊かな自然共生社会の実現

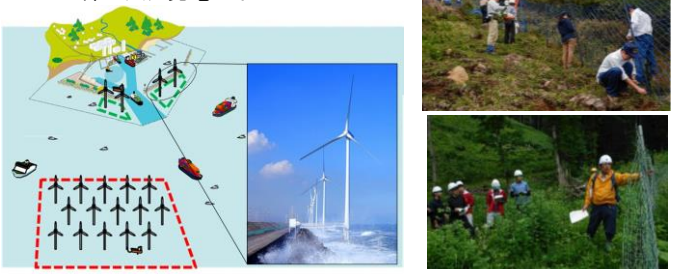
- (1) 地域主導による災害に強い再生可能エネルギーの導入と利用推進の取組
  - (2) 小型家電等各種リサイクルの推進
  - (3) 森林整備・保全の推進
  - (4) 生物多様性の保全・回復、自然環境の保全・再生
- 【キーワード】  
 SDGs、カーボンニュートラル（中間とりまとめ⑥より）、低炭素社会・脱炭素、気候変動、地域循環共生圏（環境省）、地方が牽引する脱炭素社会の実現（まち・ひと・しごと2021）、自然共生型社会、再生可能エネルギー、水素等次世代エネルギー  
 森林保全の取組

小名浜港のカーボンニュートラルポート形成イメージ



出典：東北地方整備局

洋上風力発電のイメージ



出典：社会資本整備重点計画

出典：東北森林管理局「令和3年度 林野庁 東北森林管理局 重点取組事項」

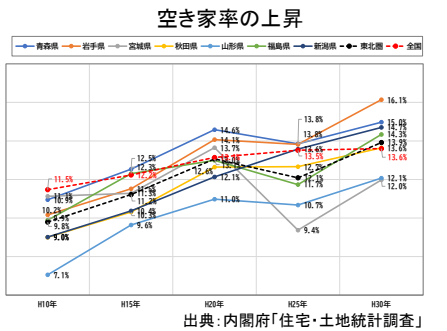
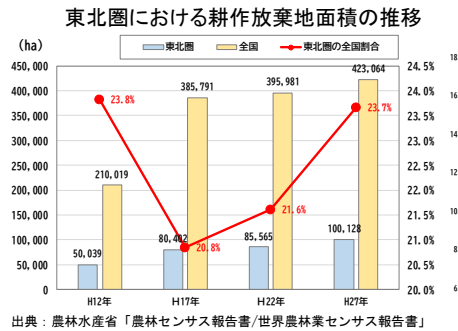
# 3. 東北圏発展の課題ー3

黒文字: 現計画の課題内容  
 赤文字: 変更提案  
 青文字: 関連キーワード、変更の意図、方向性

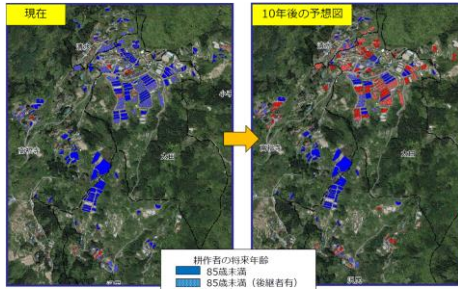
## 7. 美しい圏土や歴史的文化の保全と活用

- (1) 圏土の管理、自然資源の保全と活用
- (2) 歴史文化の保全・発信

【キーワード】  
 森林荒廃、農地の減少、空き地・空き家  
 歴史まちづくり、国立公園満喫プロジェクト、  
 圏土の管理 (中間とりまとめ⑦より)



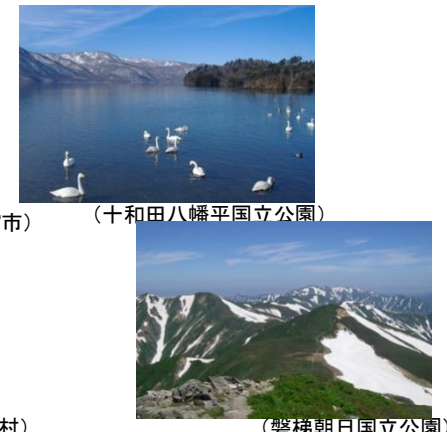
### 地域管理構想の事例(長野県長野市旧中条村)



### 「歴史まちづくり」の進展



### 国立公園満喫プロジェクトの推進



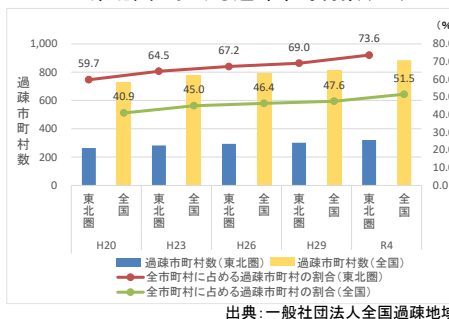
## 8. 人口減少社会に適応する地域生活圏の形成

- ※より危機感を高める表現に変更。
- (1) 農山漁村、離島・半島を中心とした人口減少・少子化及び高齢化への対応
- (2) 情報通信格差の解消
- (3) 中心市街地の活性化とネットワークの構築
- (4) 都市と農山漁村の連携・共生
- (5) 都市間距離の克服
- (6) 生活圏域内の快適なモビリティの確保
- (7) 地域医療の支援
- (8) 女性の社会参画

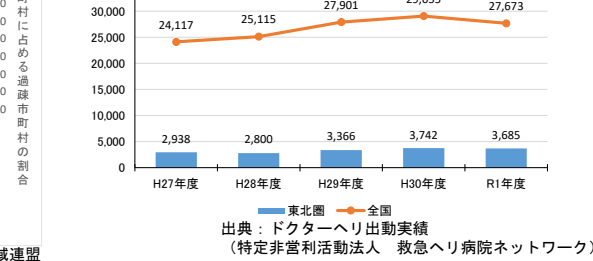
【キーワード】  
 消滅可能性都市、人口減少 少子化 高齢化、  
 DX (中間とりまとめ①より)、自動運転 (中  
 間とりまとめ②より)、二地域居住 (中間  
 とりまとめ③・東経連より)、ウォークブル、  
 「デジタル×リアル」(国土の長期展望)、  
 地方へのひとの流れの創出、人材支援、テレ  
 ワーク (まち・ひと・しごと2021)、コンパ  
 クトシティ、地域コミュニティ、地方分散型  
 社会、雇用のミスマッチ、ダブルケア、中山  
 間地域の交通サービス

都市間距離が長いので  
 ドクターヘリの出動件数  
 が増加傾向にある。

### 東北圏における過疎市町村数 (R4)



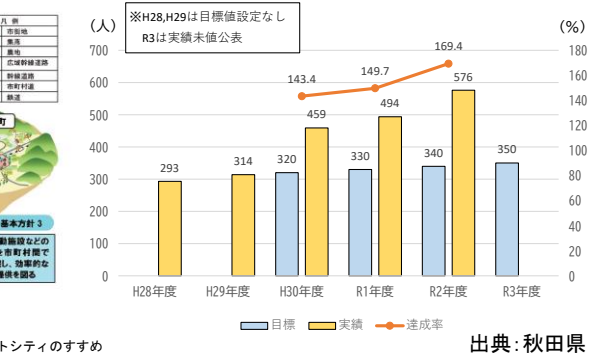
### ドクターヘリ出動件数



### 「東北発コンパクトシティ」のイメージ



### 地方移住への関心の高まり





# 3. 東北圏発展の課題 - 4

黒文字: 現計画の課題内容  
 赤文字: 変更提案  
 青文字: 関連キーワード、変更の意図、方向性

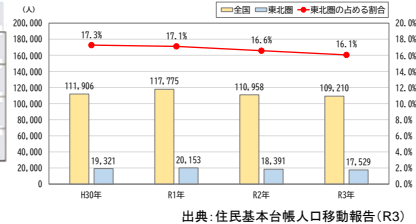
## 9. 若者の定着、人材育成、女性活躍

- (1) コミュニティ活性化のための絆の構築
- (2) 人材の育成と活用

(人)	専ら専ら	どちらか一方を専ら専ら	どちらか一方を専ら専ら	専ら専ら	専ら専ら
東北圏女性 (11518)	13.6	32.0	14.2	22.4	17.8
非東北圏女性 (11143)	13.1	34.1	15.0	23.1	14.7
東北圏男性 (11877)	12.0	30.5	15.4	24.5	17.5
非東北圏男性 (11054)	13.4	35.1	15.6	19.0	17.0

【キーワード】  
 女性の活躍 (中間とりまとめ②より)  
 賃金の引き上げ  
 U・Iターン

20代女性の首都圏への転出(再掲)

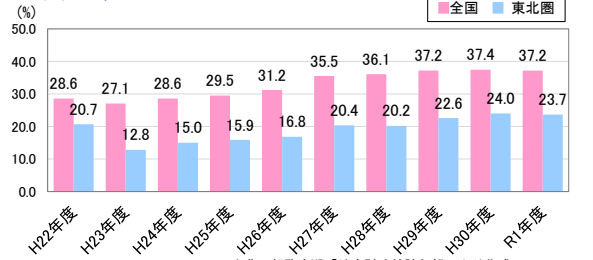
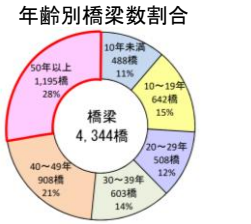


▲東北圏企業における5年間の女性活躍推進状況  
 「ここ5年間で女性活躍が進んでいると思うか」  
 出典: 公益財団法人東北活性化研究センター  
 「東北における女性活躍推進の実態と働く女性の意識調査 (R3)」

## 10. 公共投資の重点化と効率化、民間活力の導入

- (1) 財政制約と行政サービス
- (2) 公共投資の重点化・効率化
- (3) インフラの長寿命化対策

【キーワード】  
 人口減少による地方財政難  
 官民連携 (中間とりまとめ⑥より)  
 民間活力の導入  
 インフラの老朽化対策 歳出に占める税収の割合の推移



出典: 東北地方整備局  
 「橋梁の長寿命化修繕計画 [令和2年度版]」

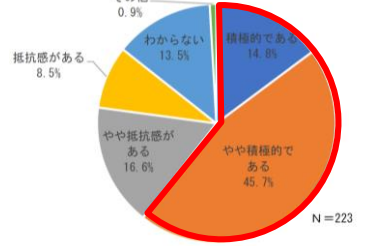
出典: 総務省HP「地方財政統計年報」より作成

## 11. DXの推進

※国土形成計画の中間とりまとめや各県の計画でも重要課題として多く取り上げられていることから新規に項目を追加。

【キーワード】  
 DX、デジタル田園都市、超スマート社会  
 Society5.0、ビッグデータ、AI、IoT、5G

東北圏企業におけるデジタル化推進への社内の意識



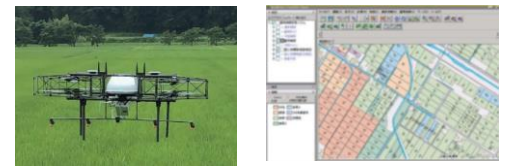
出典: 公益財団法人 東北活性化研究センター  
 「東北圏の産業分野におけるデジタル技術活用に関する実態調査」

MaaSの取組例 (福島県会津若松市)



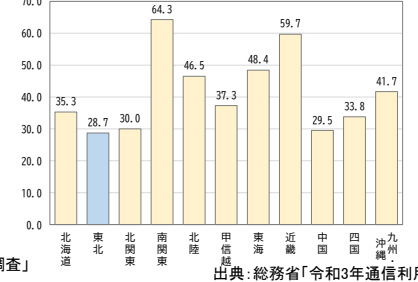
出典: 会津若松市「会津Samurai MaaSプロジェクト」

スマート農業の取組例 (岩手県北上市)



▲ドローンによる農薬散布 ▲営農・生産管理システム

テレワーク導入率



出典: 総務省「令和3年通信利用動向調査」



▲仙台市×東北大学スーパーシティ構想  
 出典: スマートシティ官民連携プラットフォーム

東北圏の特徴とポテンシャル

東北圏発展の課題

東北圏を取り巻く潮流

『東北圏の将来像』

# 4. 東北圏広域地方計画の構成（H28.3策定）

## 第1章 計画の目的

### 第1節 計画の目的

### 第2節 計画の対象区域と計画期間

1.対象区域 2.東北圏の位置づけ 3.計画期間

## 第2章 東北圏を取り巻く状況と地域特性

### 第1節 東北圏が歩んできた歴史

### 第2節 東北圏の特徴と魅力

### 第3節 東北圏を取り巻く潮流

### 第4節 東北圏発展の課題

## 第3章 これから10年で東北圏が目指す姿

### 第1節 東北圏の将来像

### 第2節 将来像実現のための基本方針

1. 震災からの復興とともに世界に発信する防災先進圏域の実現
2. 人と自然が共生し地球に優しく生命力あふれる空間の形成
3. 豊かな自然と地域資源を活かし持続的な成長を実現する「東北につぼん自立経済圏」の形成
4. 一人ひとりの自立意識と交流・協働で創る東北圏

## 第5章 広域連携プロジェクト

- 1.新しい東北圏を創造する東日本大震災からの復興PJ
- 2.安全・安心な東北圏を形成する大規模地震災害対策PJ
- 3.東北圏における人口減少対策PJ
- 4.都市と農山漁村の連携・共生などによる持続可能な地域構造形成PJ
- 5.雪国東北の暮らし向上PJ
- 6.東北圏の生活を支える地域医療支援PJ
- 7.次世代産業の研究・産業集積拠点形成PJ
- 8.東北圏の資源を活かした農林水産業の収益力向上PJ
- 9.「四季の魅力溢れる東北」を体験できる滞在交流型観光圏の創出PJ
- 10.東北圏の発展を牽引する日本海・太平洋2面活用によるグローバル・ゲートウェイ機能強化PJ
- 11.地球温暖化等にとまない高まる自然災害リスクへの適応策PJ
- 12.東北圏のポテンシャルを活かした低炭素・循環型社会づくりPJ
- 13.東北圏の自然環境の保全・継承PJ
- 14.「東北につぼん」を創造する多様な主体が連携・協働する地域づくり支援PJ
- 15.首都圏・北海道・北陸圏等との連携強化PJ

## 第4章 戦略的目標と実現のための主要な施策

### 第1節 東日本大震災からの被災地の復興

1. 被災地の復興に向けた新しい地域づくり
2. 農林水産資源を始めとする地域資源の回復と地域産業の経営強化
3. 東京電力福島第一原子力発電所の事故による災害への対応と継続的な取組

### 第2節 災害に強い防災先進圏域の実現

1. 広域災害に備えた地域間連携の強化
2. 災害リスクを低減する防災力の強化
3. グローバルな災害対応
4. インフラの戦略的メンテナンスの推進

### 第3節 恵み豊かな自然と共生する環境先進圏域の実現

1. 地球環境保全のための低炭素社会・循環型社会の構築
2. 美しい四季に彩られる森林や田園、川や海辺の保全と継承
3. 健全な水循環の維持又は回復と海域の環境保全・再生・利用

### 第4節 雪にも強くて人に優しく暮らしやすい

### 魅力的な対流促進型の地方の創生

1. 冬に強い地域づくりの推進
2. 「コンパクト＋ネットワーク」による都市と農山漁村の共生
3. 地域の持続的な発展の核となる新しい時代のコンパクトシティの形成
4. 「小さな拠点」の形成による暮らしやすい農山漁村づくり
5. 医療・福祉の充実
6. 高齢者や女性等の社会参画による地方の創生

### 第5節 地域の資源、特性を活かした世界に羽ばたく産業による自立的な圏域の実現

1. 国際競争力を持つ産業群の形成
2. 地球に優しいエネルギーの安定供給と世界を先導するエネルギー技術開発の推進
3. 東北圏の地域資源を活かした「強い農林水産業」と「美しく活力ある農山漁村」の創出
4. 東北圏ならではの地域資源を活かした観光交流と滞在人口の拡大

### 第6節 交流・連携機能の強化による世界と交流する圏域の実現

1. 「日本海・太平洋2面活用型国土」の形成
2. 高速交通交流圏の形成
3. 圏域内外を結ぶ総合的かつスマートなネットワークの形成

### 第7節 地域を支える人材の育成と共助による住民主導の地域運営の実現

1. 「東北につぼん」の創造を支える人材の育成と活用
2. 「東北につぼん」を創造する多様な主体による共助社会づくり
3. 共助によるコミュニティ活性化のための絆の構築

## 第6章 計画の推進に向けて

### 第1節 計画の効果的推進

1. 計画の推進／2. 重点的・効率的な施策の実施
3. 計画のフォローアップ

### 第2節 他計画との連携

# 5. 東北圏の将来像・戦略的目標（H28.3策定）

## 東北圏の将来像

### 震災復興から自立的発展へ

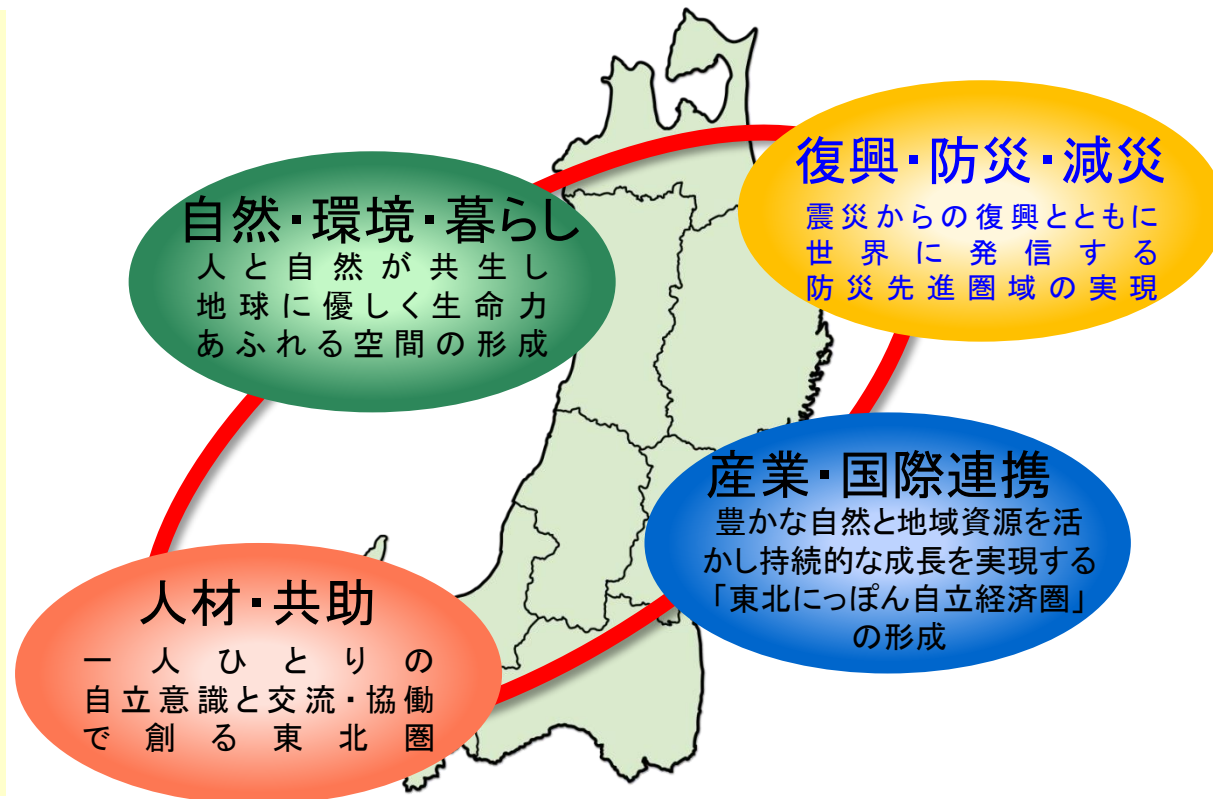
#### ～防災先進圏域の実現と豊かな自然を活かし交流・産業拠点をめざす「東北につぼん」～

震災復興を契機に国内外に誇れる防災先進圏域の実現を図るとともに、日本海・太平洋2面活用による産業集積、インバウンド増加により、人口減少下においても自立的に発展する圏域を目指す。

### 目指すべき地域づくりの方向

- 東日本大震災の復興を契機とし、国土強靱化のリーダーとしての圏域を目指す
- 豊かな歴史・風土・自然を守り育み、環境と共生する持続可能な圏域を目指す
- 地域資源を活かした産業の育成と高度化により個性と活力のある圏域を目指す
- 首都圏をはじめとする他圏域とのヒト・モノ・カネ・情報の対流促進により、新たな価値の創造を目指す
- 環日本海（東アジア）、環太平洋（北米）との連携交流、国際交流の拠点として、多面的な価値を提供できる場の形成を目指す
- 集落地域の生活機能を集約した小さな拠点の形成及びネットワーク化と都市機能を確保する連携中枢都市圏の形成を目指す
- コミュニティ再構築と担い手育成により、多様な世代及び男女が活躍する共助社会を目指す

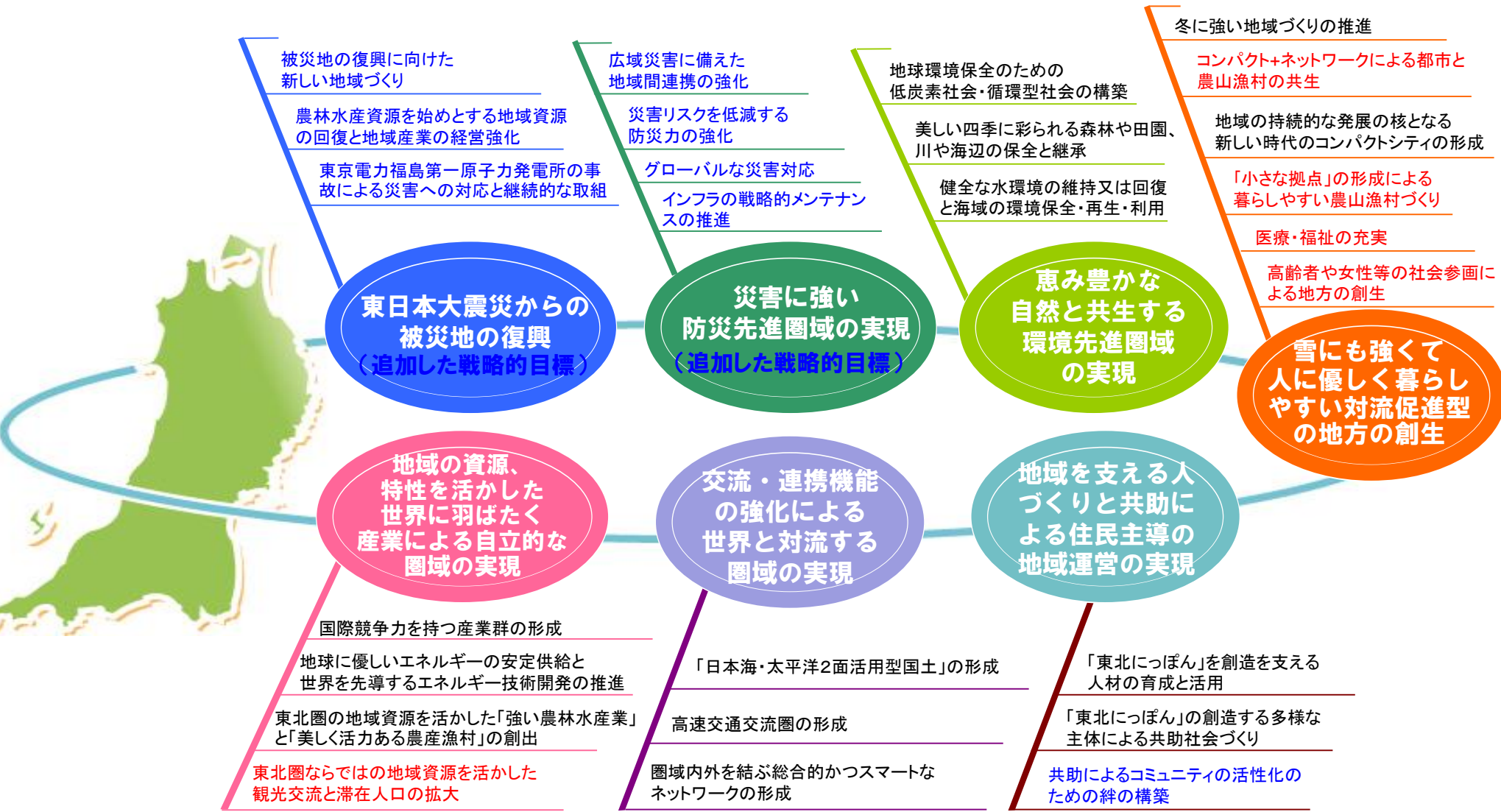
### 4つの基本方針



# 5. 東北圏の将来像・戦略的目標（H28.3策定）

・東北圏の現状や東日本大震災で明らかとなった課題等を踏まえ、主要な施策を8施策追加、その他関連する主要な施策を修正、追記(青字)。更に、それ以降の関連する上位計画のキーワードや社会情勢を踏まえ、主要な施策及び広域連携プロジェクトを修正(赤字)。

## 【7つの戦略的目標と26の主要な施策】



前

↑  
↓  
今回

- 1. 広大な圏土と豊かな自然環境
- 2. 広範囲に都市が分散する圏土構造
- 3. 気象、災害等の自然の脅威
- 4. 地域資源のポテンシャル
- 5. 優れた人材やものづくり技術
- 6. 特徴ある伝統、文化、冬の魅力
- 1. 東日本大震災と多発する自然災害
- 2. 人口減少・高齢化の進行
- 3. 地域間格差の存在
- 4. グローバル化の進展や東アジアの経済成長
- 5. 情報通信技術の発達
- 6. 地球規模の環境問題
- 7. 地域・社会の魅力、文化への意識の高まり

- 1. 東日本大震災からの復興と災害対策の強化
- 2. 克雪・利雪・親雪の推進
- 3. 産業の活性化、競争力ある産業の振興
- 4. 国際交流・連携の強化
- 5. 循環型社会の構築、豊かな自然共生社会の実現
- 6. 美しい圏土や歴史的文化の保全と活用
- 7. 人口減少社会・高齢化への対応
- 8. 若者の定着、人材育成
- 9. 公共投資の重点化と効率化

- 1. 広大な圏土と豊かな自然環境
- 2. 広範囲に都市が分散する圏土構造
- 3. 気象、災害等の自然の脅威
- 4. 地域資源のポテンシャル
- 5. **先端産業拠点の整備進展**
- 6. 特徴ある伝統、文化、冬の魅力
- 1. **東日本大震災からの復興・再生**
- 2. **頻発・激甚化する自然災害**
- 3. **人口減少・高齢化の深刻化**
- 4. **若年層・女性の転出増**
- 5. **デジタルトランスフォーメーション(DX)の遅れと成長の停滞**
- 6. 地球規模の環境問題
- 7. 地域・社会の魅力、文化への意識の高まり
- 8. **新型コロナウイルス感染症による変化**

- 1. **震災復興の先の自立的発展**
- 2. **災害対策と防災先進圏域としてのプレゼンスの向上**
- 3. 克雪・利雪・親雪の推進
- 4. 産業の活性化、**国際競争力**ある産業の振興
- 5. 国際交流・連携の強化
- 6. 循環型社会の構築、豊かな自然共生社会の実現
- 7. 美しい圏土や歴史的文化の保全と活用
- 8. **人口減少社会に適応する地域生活圏の形成**
- 9. 若者の定着、人材育成、**女性活躍**
- 10. 公共投資の重点化と効率化、**民間活力の導入**
- 11. **DXの推進**